

## ひまわり2組 第1～3学年 算数科学習指導案

- 1 単元名 1年生「ながさくらべとひろさくらべ」  
2年生「かけ算」  
3年生「小数」

### 2 指導の立場

#### (1) 単元について

1年生は、入学前に長い、短い、広い、狭い、多い、少ない、大きい、小さいなどの言葉を用いることを覚え、量の多少を比較する経験をしている。本単元では、長さや広さの比べ方を考え、直接比較や間接比較によって比べたり、任意単位を用いて数値化して比べたりする中で、比べる物の特徴に着目したり、単位のいくつ分で考えたりすることができるかを学ぶ。

2年生は、新しい計算である乗法を学ぶ。本単元では、乗法の意味を理解し、その意味に関して成り立つ性質のもとに乗法九九を構成し、九九を唱えることができるとともに、具体的な場面で乗法を用いることができるようにしたい。まずは、「1つ分の大きさのいくつ分」という形で表現させた上で、場面がより分かりやすくなったことや式が簡単になったことを児童に理解させていきたい。

3年生は、本単元で小数を学ぶ。1Lのはしたのかさを、1Lを10等分にしたかさのいくつ分で表すことにより、小数の意味や表し方などについて理解していく。本単元では、実感をもって小数の意味を捉えさせるために、連続量である水を導入に使用し、実際に水を動かすことができるようにしたり、数直線を活用したりすることで、小数の大小比較や系列などを視覚的に理解させていく活動を仕組む。

#### (2) 児童の実態

自閉・情緒障がい学級のひまわり2組には3年生が1名、2年生が3名、1年生が1名在籍している。

複数学年が一緒に同じ教室で算数の授業を行うため、一人一人の進捗状況を把握する難しさだけでなく、45分間学習意欲を失うことなく、集中して取り組むことができるようにすることの難しさがある。

しかし、その反面、自分たちが既習しているという強みを生かし、下学年を教える場面もあったり、上級生の学習を先取りして知ることができたりするため、興味関心の高い児童らにとっては、複数学年が一緒に同じ教室で学ぶことのよさもあるので、児童の個性や学習状況に応じて対応していきたい。

自分なりのめあてを決めて、実現できるように努力する中で、仲間の頑張りや学び方のよさにも注目させていきたい。

### 3 研究内容との関わり

#### 1. 導入の工夫

##### (1) 既習を生かした導入

本時に必要な数学的見方・考え方の基となる既習を明確にし、具体物や半具体物を手元操作しながら、導入で学びを振り返る。

## 2. 課題追究の工夫

### (1) 小集団での学び合いの活用

自分のめあてをみんなの前で語ることで、自分のやるべきことを明確にするとともに、本時を振り返る場面を作ることで、既習を振り返ったり今後の学習を見通したりする系統的な学びの場とする。

## 3. 終末の工夫

### (2) 学びの定着

タブレット学習などに挑戦し、学びが自分のものになっているか確認していく。

## 4 単元指導計画 (単元名) 第1学年「ながさくらべとひろさくらべ」全5時間 第2学年「かけ算」全15時間 第3学年「小数」全12時間

### (1) 単元の目標

#### ① 第1学年「ながさくらべとひろさくらべ」

ものの長さや広さに関心をもち、直接比較、間接比較によりそれぞれの量を比較するとともに、任意単位を用いることによって長さや広さが数値化できることを知り、長さや広さの比較ができる。

#### ② 第2学年「かけ算」

乗法の意味を理解し、その意味や乗法に関して成り立つ性質をもとに乘法九九を構成し、九九を唱えることができるとともに、具体的に場面で乗法を用いることができる。

#### ③ 第3学年「小数」

小数の構成や順序、系列について理解するとともに、大小比較や加法、減法の計算をすることができる。

### (2) 本単元の評価規準

#### ① 第1学年「ながさくらべとひろさくらべ」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
身のまわりにある物の長さや広さを直接比較や間接比較によって比べたり、任意単位を用いて数値化して比べたりして、長さや広さの意味について理解する。	身のまわりにある物の長さや広さについて、任意の単位のいくつかで数値化して測定するなど、比べ方を考えたり、実際に比べたりする。	身のまわりにあるものの長さや広さに関心をもち、長さや広さを比較することに意欲をもつ。

#### ② 第2学年「かけ算」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
乗法の意味や式表示の仕方を理解する。2～5の段の九九の唱え方を知り、唱えることができる。	全体の数量を基準とする大きさのいくつかとして捉えている。乗数が1増えると、答えが同数増えることを活用し、2～5の段の九九の構成を考えている。	乗法に関心をもち、身のまわりにあるものを乗法で表現できるのよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとする。

#### ③ 第3学年「小数」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
小数の意味や表し方、構成、順序、系列、整列や分数との関係がわかる。	端数部分の大きさを0.1のいくつかで表す。小数と分母が10の分数の大きさについて、数のしくみに目を向け、大小比較のしかたを考える。1/10の位までの加法や減法の計算ができる。	小数を用いると整数で表せない端数部分の大きさを表すことができるなどのよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとする。

(3) 本単元までに身に付けてきた学習内容

①第1学年「ながさくらべとひろさくらべ」

入学前

- ・量の多少を比較する経験。
- ・長い, 短い, 広い, 狭い, 多い, 少ない, 大きい, 小さいなどの言葉を用いること。

②第2学年「かけ算」

1年7「10より おおきい かず」

- ・2ずつ, 5ずつまとめて数えること。

1年9「3つのかずのけいさん」

- ・3□の数の加法の式と計算。具体物を等分し, 図や式で表すこと。

1年16「大きな かず」

- ・10ずつまとめて数えること。

③第3学年「小数」

2年13「1000より大きい数」

- ・10000までの数の構成(千の位), 数え方, 表し方, 読み方 など

(4) 指導と評価の計画

※指導に生かす評価(●) / 記録に残す評価(○)

第1学年

時	ねらい	本時に活用する学び	評価規準(評価方法)		
			知・技	思・判・表	態度
1	長さの意味が分かり, 直接比較によって長さを比べることができる。	ながさくらべ	●操作活動の様子		●態度○発言
2	媒介物を用いて, 長さを間接比較する方法を理解し, 長さを比べることができる。		○操作活動の様子	●ノート・発言	
3	任意の長さを単位として, そのいくつ分で長さを表し, 長さの比較ができる。		●操作活動の様子		●態度○発言
4	広さの意味が分かり, 直接比較によって広さを比べることができる。	ひろさくらべ	○操作活動の様子	●ノート・発言	
5(構)	マットの広さ比べや陣とりゲームを通して, 広さを単位によって数値して比較できることを理解する。		●操作活動の様子	●ノート・発言	

第2学年

時	ねらい	本時に活用する 学び	評価規準（評価方法）		
			知・技	思・判・表	態度
1	具象的場面（やり、）具象を用いて、「1つの大きさのいくつ分」とり意を深める。	かけ算	・操作活動の様子	○ノート・発言	
2（本時）	乗の意味や表示の仕方、乗の答えは積（積算）によって求められることを理解する。		・操作活動の様子		
3	乗法の意味や式表示の仕方の理解を深める。	九九	○操作活動の様子		
4	身の回りから同じ数ずつまとまった物を探し、乗法の式表示の理解を深める。		・操作活動の様子		・態度○発言
5	2のいくつ分の大きさを求めて、2の段の九九を構成することができる。		・操作活動の様子		
6	2の段の九九の唱え方を知り、正しく唱えたり、適用したりすることができる。		○操作活動の様子		
7	5のいくつ分の大きさを求めて、5の段の九九を構成することができる。		・操作活動の様子		
8	5の段の九九の唱え方を知り、正しく唱えたり、適用したりすることができる。		○操作活動の様子		
9	3の段の九九を構成することができる。かけられる数、かける数の用語とそれらの意を深める。また、3の段では、乗が1増えると答が3増えることを理解する。		・操作活動の様子		
10	3の段の九九の唱え方を知り、正しく唱えたり、適用したりすることができる。		○操作活動の様子		
11	乗が1増えると答が4増えることを活用して、4の段の九九を構成することができる。		・操作活動の様子	○ノート・発言	
12	4の段の九九の唱え方を知り、正しく唱えたり、適用したりすることができる。		○操作活動の様子		
13	もどする量のいくつ分を「はい」で表せることを知り、その大きさを乗算で表すことができる。	はいとかけ算	○操作活動の様子		
14	分量でも分量と同じように、「はい」が用いられることを知り、場数を乗算で表すことができる。		・操作活動の様子		
15	基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	たしかめもんだい	○操作活動の様子		

第3学年

時	ねらい	本時に活用する 学び	評価規準（評価方法）		
			知・技	思・判・表	態度
1	端数の大きさ表わす数（小数）を用いられることを知り、小数を用いられることを知り、小数の表し方（数）を深める。	小数	・操作活動の様子	○ノート・発言	
2	長さも、複数を表わす数量が数を用いて単数で表わすことができることを理解する。		○操作活動の様子		・態度・発言
3	小数の位（十の位）の仕組や数の構成について理解する。また、小数の位（十の位）の表し方について理解する。	小数のしくみ	・操作活動の様子		・態度○発言
4	小数を、数の構成をもとに、0.1を単位として相対的にみて表すことができる。		・操作活動の様子	○ノート・発言	
5	小数の十進構造や順序、系列についての理解に基づいて、小数の大小比較ができる。		○操作活動の様子	・ノート・発言	
6	小数を多面的にみて表すことができる。	数の見方		・ノート・発言	・態度○発言
7~8 （本時）	小数第一位までの小数の加法の計算の意味や原理、方法を理解し、計算できる。	小数の計算		ノート・発言	・態度・発言
9	小数第一位までの小数の加法の筆算の仕方を理解し、計算できる。		○操作活動の様子	・ノート・発言	
10	小数第一位までの小数の減法の計算の意味や原理、方法を理解し、計算できる。		・操作活動の様子	○ノート・発言	
11	小数第一位までの小数の減法の筆算の仕方を理解し、計算できる。		○操作活動の様子	・ノート・発言	
12	基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。		たしかめもんだい	・操作活動の様子	○ノート・発言

